

《小学生の部》

優秀作（国務大臣・国家公安委員会委員長賞）

埼玉県久喜市立太田小学校

1年 森永 紗礼

とうげこうできをつけること

わたしは、ことしの四がつからしょうがっこうににゅうがくして、こどもたちだけのとうこうはんでがっこうまであるいてとうこうするようになりました。

おとながいっしょにいないときにそとをあるくのははじめてで、はじめはきんちょうしましたが、五ねんせいのはんちょうさんについていってあるいていっています。

わたしのつうがくろは、じゅうたくがいのなかにあるどうろをとおっていきます。このどうろはほどがないばしょがおおいので、くるまにひかれないようにはしっこをあるくようにしています。たまに、くるまがすごいはやさできゅうにまがってたりするので、まえをよくみてあるくこともたいせつです。

また、おうだんはどうでは、みぎ、ひだり、みぎをかくにんして、てをあげてわたるようになっています。がっこうのちかくのおうだんはどうには、けいさつかんのひとや、はたふりのおとうさんおかあさんもいて、こどもたちをみまもっててくれています。

かえりは一ねんせいだけのげこうはんでかえります。いえがとおくにあるわたしは、とちゅうからはひとりになってしまふときもあります。そんなときは、ちいきのみまもりのおじいちゃんがいっしょについてきてくれたりもします。

まいにち、たくさんのひとたちのおかげであんぜんにとうげこうできています。ほんとうは、くるまにのっているひとがスピードをだしすぎないようにしたり、こどもたちも、とびだしたりよそみをしないなど、からだのルールをまもれば、みまもりがなくてもあんぜんにとうげこうできるのになとおもいました。

おかあさんに、このことについてはなしたら、

「そうだね。ひとりひとりがしっかりと、こうつうあんぜんをいしきするのがだいじだね。」

とうなずいてくれました。そして、もうひとつ、

「でも、まだぜんいんがルールをまもれていないから、じぶんのことはじぶんでもらなけばいけないね。」

といわれました。

「おうだんはどうのしんごうがあおだとしても、ほんとうにくるまがきていないかもう

いちどかくにんしてからわたること。くるまのしんごうがあかでも、とまらずにはしってきてしまうくるまがいるかもしれないからね。」

おかあさんのはなしをきいて、わたしは、しんごうがあおでも、もういちどまわりをよくみてからわたるようにしようとおもいました。二がつきからはもっときをつけて、これからもあんぜんなとうげこうをしていきたいとおもいます。